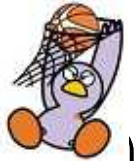


平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Aコート 第4試合 深谷総合体育館(深谷ビッグタイトル)

チームA	80	16 - 24 28 - 17 26 - 22 10 - 27	90	チームB
県立取手松陽 茨城				東海大学付属第四 北海道

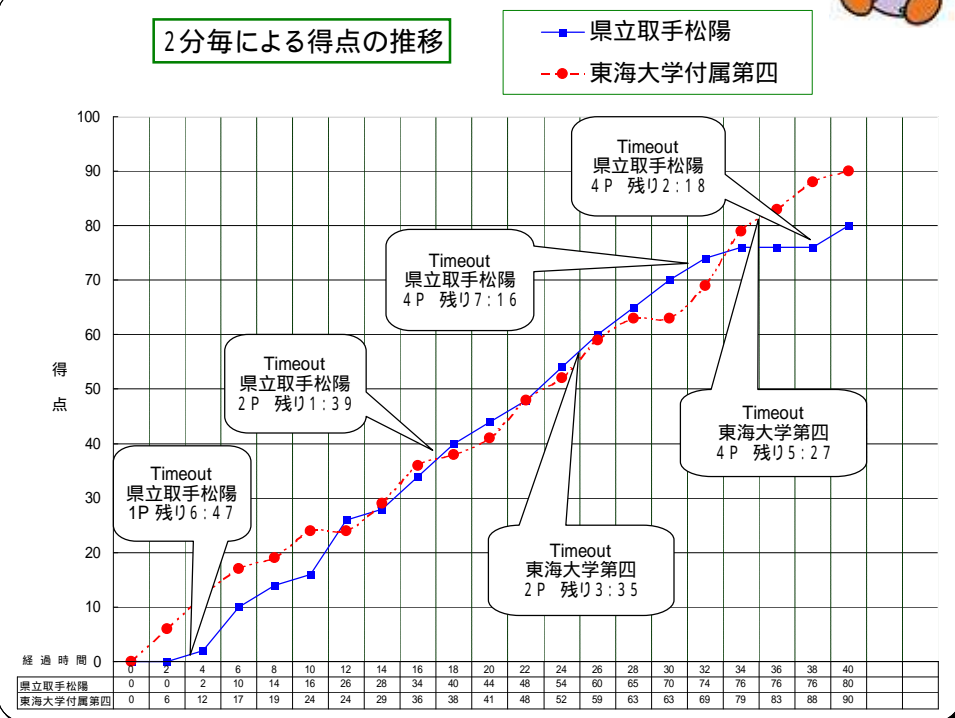
県立取手松陽

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	飛田 浩明	X	11	2	10	2	6	1	2	3	0	1	1	1	1	1	40
5	来栖 祥太	X	20	1	7	8	11	1	1	1	3	3	1	0	2	0	40
6	松岡 一成	X	22	0	0	9	18	4	4	4	2	6	5	0	0	2	39
7	牧山 康太	X	23	1	4	10	18	0	0	2	1	5	3	3	2	0	40
8	畑 昂志	X	0	0	1	0	3	0	0	2	1	2	2	1	1	0	14
9	馬場 慶志	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
10	斉藤 竜之介	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11	青野 友彦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	小川 俊樹	X	4	0	0	2	3	0	0	5	3	3	1	0	0	0	22
13	串田 巨至	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
14	小島 慎太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	斉藤 大樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	佐藤 豊文	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	2	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場			80	4	22	31	59	6	7	19	11	23	13	5	6	3	200
確率			18.2%		52.5%		85.7%				計	34					

東海大学付属第四

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 文哉	X	4	0	1	2	3	0	2	1	0	5	1	0	3	0	40
5	中村 享輔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
6	安部 秀斗	X	30	3	4	10	16	1	3	2	1	2	3	2	9	0	40
7	増田 源士	X	34	0	0	16	20	2	4	4	1	3	5	0	2	3	39
8	岩本 竜育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	澤田 大樹	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
10	橋本 佳介	/	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	8
11	四十物 毅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	村井 恵太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	絹張 龍平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	須田 侑太郎	X	11	0	1	4	7	3	4	3	0	2	4	0	3	0	32
15	西川 貴之	X	11	0	0	4	6	3	3	2	1	12	5	0	4	1	38
コーチ	佐々木 睦己	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	4	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場			90	3	7	36	52	9	16	14	4	28	19	2	21	4	200
確率			42.9%		69.2%		56.3%				計	32					

2分毎による得点の推移



戦評

常連校で高さに勝る東海大第四と初出場オールラウンドなプレースタイルの取手松陽の対戦。第1P共にマンツーマンディフェンス。取手松陽は初出場の緊張からミスが目立つ。東海大第四は#7増田、#15西川がゴール下で得点し8-0と先行する。取手松陽はタイムアウトをとりディフェンスをより攻撃的にを行い、ターンオーバーを奪うなど反撃に転じる。第2Pヘルプディフェンスによってインサイドを止められた東海大第四は#6安部の1対1に頼る形の単調な攻撃になる。一方取手松陽は、#4飛田、#5来栖、#7牧山のアウトサイドに#6松岡のインサイドが効果的に絡み逆転し、ハーフタイムを迎える。第3P東海大第四は再び#7増田、#15西川がインサイドを攻める。そこに#14須田のカットイン、#6安部の1対1が加わり良いリズムが出来る。取手松陽も#5来栖のジャンプシュート、#7牧山の3Pシュートが高確率で決まり互角の戦いが続く。東海大第四はディフェンスを2-3ゾーンに変えて勝負に出るが、取手松陽#7牧山に3Pシュート、#6松岡にゴール下を決められ7点差にされる。第4P東海大第四は#7増田がローポストアタックできっかけを作ると、#15西川もミドルシュートを決め追撃する。取手松陽はこれまで決まっていた#5松岡、#7牧山のシュートが外れるとインサイドへの強引なドライブを東海大第四の高さに止められ、#12小川のパウルアウトも重なり苦しい展開となる。東海大第四は手薄になった取手松陽のゴール下を攻め、外からは#6安部、#4佐藤が確実にシュートを決め逆転しリードを広げる。取手松陽も2-2-1ゾーンプレスで追い上げを図るが実らなかった。常連校である東海大第四の勝負強さが光った試合となった。

主審	宇地原 尚彦	副審	前田 耕一	戦評	井上 裕史 (埼玉県高体連)
----	--------	----	-------	----	----------------

3P:スリーポイントシュート、2P:2ポイントシュート、FT:フリースロー、OF:オフェンス、DF:ディフェンス、TO:ターンオーバー、ST:スティール、AS:アシスト、BS:ブロックショット